

はじめに

～スポーツ界におけるコンプライアンス強化ガイドライン

不祥事対応事例集のご利用に当たって

## 1 不祥事対応事例集利用のポイント

本来コンプライアンス強化は、不祥事が発生するか発生しないかにかかわらず、ガバナンスの整備の基礎的な取組みであり、組織運営の骨格、基盤強化のため、競技の普及、振興、競技力の向上を目的とした施策の実施とともに常に意識しなければならないものです。

そして、スポーツ団体の規模によって各団体の人員構成に差があり、その対応力にも自ずと差があることがあり得るガバナンスの問題とは異なり、コンプライアンスはスポーツ団体の規模に関係なく達成しなければならないものであり、常に最新の情報を取り入れながら継続的に改善していく必要があります。

スポーツ団体は、その事業規模やスポーツの公益性に鑑みると、その運営における社会的影響力は極めて大きく、また、選手、指導者や審判等の団体構成員以外にも、スポンサー、メディア、ファンなど、ステークホルダー（利害関係者）が非常に多く、大なり小なり様々な不祥事が発生することを避けることは、スポーツ団体にとって難しいのが現実です。

そこで、スポーツ団体としては、あらかじめ発生する不祥事を想定し、大枠の対応マニュアルを策定しておく必要があります。不祥事が発生した場合の初動対応については別添「スポーツ団体向けモデル危機管理マニュアル」<sup>1</sup>に記載していますが、本不祥事対応事例集は、過去実際に発生したスポーツ団体における不祥事を参考に、類型ごとに対応のポイントと、実践案を個別具体的に記載したものです。

万一、各スポーツ団体において不祥事事案が発生したときには、担当者がまず「スポーツ団体向けモデル危機管理マニュアル」<sup>2</sup>に沿った初動対応を行いつつ、当該不祥事事案に近い事案を目次から探し、自らの団体における大枠の対応マニュアルとして利用頂くことを想定しています。

なお、本書において記載させていただいた団体名における法人形態につきましては、読みやすさのため、省略させていただきました。あらかじめご了承ください。

<sup>1</sup> [http://www.jsaa.jp/ws/compliancereport2017\\_02\\_13.pdf](http://www.jsaa.jp/ws/compliancereport2017_02_13.pdf)

<sup>2</sup> [http://www.jsaa.jp/ws/compliancereport2017\\_02\\_13.pdf](http://www.jsaa.jp/ws/compliancereport2017_02_13.pdf)

## 2 本書の構成

本調査研究の報告書では、これまで日本のスポーツ団体等で発生した不祥事の類型を 10 個に分類しています。そこで、これら 10 個の類型にしたがって、不祥事対応事例集をまとめました。

各類型においては、事案対応の流れ、ポイントにしたがって、対応マニュアルを記載しました。不祥事が発生した場合には、この流れ、ポイントに沿った対応が可能になっています。それぞれの事例において一から説明を行っており、複数の事例で重複する記載もありますが、それは、それぞれの事例での対応を説明するためですのでご理解いただければ幸いです。